

令和4年1月21日

議会報告・意見交換会報告書

代表者 山口 桂子  
記録者 五十嵐浩之  
班 員 遠藤 喜昭  
" 笹原 隆義  
" 野口さつき

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和3年11月19日（金）午後7時～午後8時50分	
2 会 場	市立荒谷公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	3名（男性3名）	
5 報告内容	議会活動状況 議員定数・議員報酬について	
6 意見・要望等	市 民	議 員
	市民 議員の報酬は何処で決めているのか。	議員 議会として市長に要望し、市長が審議会に諮問し、意見を聞いたうえで検討し、市長が判断することになる。
	市民 選挙になった方が市民の関心度は高まる。 定数を減らしても、待遇を良くする事が必要なのではないか。	議員 議員は選挙の時に公約を訴えるわけで、無投票で当選したらモチベーションが下がる。 若者に立候補してもらえようような環境づくりの一環であり、今よりも将来の事を考えて検討しているという事でご理解いただきたい。
	市民 市会議員をやってもきちんと生活できるような待遇が必要。 地区や市内をくまなく回って活動することも必要。 私はこれだけ働きますからこれくらい報酬をくださいと言えるような議会活動をしてほしい。	議員 報酬は、酒田市や米沢市よりも低く、東根市や寒河江市よりも若干高くなっている。 議員活動も、もっと市民の皆さんに見えるようにしていかなければならないと思っている。

	<p>市民 政務活動費の報告書は、市の HP とかではなく（市民の目に触れるように）紙で出してほしい。</p>	<p>議員 活動や勉強してきた内容は、一般質問や委員会などで意見を出したりしている。</p>
	<p>市民 荒谷地区の場合は議員が不在で、有権者が約 1,600 人であり、投票率を考えた場合に定数減はますます厳しい。少数を切り捨てることにもなり、定数を減らせばよいという事でもないのでは。</p>	<p>議員 今までの古い選挙のやり方ではなく、これからはやり方を変えて行かなければいけないと感じている。有権者の数だけで考えるものではないと思う。</p>
	<p>市民 長野県白馬村であった地震（2014 年）では相当数の建物が倒壊したにもかかわらず、死者が出ていない。災害に強いまちづくりにおいて参考になると思うが、誰も視察に行っていない。こういった視察にはお金をかけても良いのでは。</p>	<p>議員 残念ながら昨年度はコロナの影響で視察も行けず、市に全額返却している。 今年度は今現在コロナも落ち着いてきているので、これから視察や研修などやって行きたいと思っている。</p>
	<p>市民 ① 通学路の道路を拡張してほしい。 ② 防犯のための街路灯を設置してほしい。 ③ 災害時の備蓄は各公民館などに分散してほしい</p>	<p>議員 執行部に伝える。 （調査結果） ① 当該道路の拡張は具体的な計画が進んでいない。現在、県に要望している主要地方道天童・寒河江線の歩道完成後、通学路に変更する予定である。 ② 防犯灯の新設については、町内会からの要望に応じて対応している。設置要望については、町内の調整を図った上で生活環境課に御連絡をお願いしたい。 ③ 災害時の備蓄品は、各市立公民館にも保管している。市立荒谷公民館には、アルファ化米 100 食、毛布 30 枚、簡易トイレ 500 枚、発電機 1 台、投光器 1 台、LED ライト 5 台などとなっている。</p>

	<p>市民 3回目のワクチンは8カ月経過から6カ月経過という話もあるが、どうなっているのか。</p>	<p>議員 あくまでも天童市としては、2回目接種後8カ月を経過した人から順に案内を出すという事だ。</p>
	<p>市民 農業のために参考になるところに視察に行ってはどうか。 もっと農業に関する情報を集める工夫をするべきではないか。</p>	<p>議員 農業に詳しい方や農家の方などから、もっと話を聞く機会を作るべきだと感じている。</p>
<p>7 所 感</p>	<p>少人数ではあったが、議会に対して、またはまちづくりについての要望や課題等、掘り下げて考えていただいた。議会報告会開催のPRの仕方の工夫も大切だと感じた。</p>	